



杉木 勉 議員
(灘会)



一般質問

■能登和倉万葉のマラソンについて

和倉温泉復興と大会開催時期の見通しに関する課題と方向性

質 能登和倉万葉の里マラソンについて、市民の皆さんから「万葉マラソンはいつ開催されるのか」と多くの声をいただいている。大会は2019年の開催を最後に、コロナ禍により3年連続で中止となり、その後2023年に4年ぶりに再開したものの、参加者は3,700人と半減した。さらに、令和6年の震災により、今年も含め3年連続で中止となっている。能登和倉という名称を冠する以上、和倉温泉の復興なしに大会開催は難しいとされている。和倉温泉の復興まちづくりでは、2028年の再開を目標としている。このことを踏まえると、七尾市としてもマラソン大会の再開目標を示し、例えば3年後の開催を目指すといった姿勢を示すことで、ランナーの皆さんに希望を届けることができるのではないかと。また、全国でマラソン大会が増える中、開催時期を確保するという観点からも重要であると考えている。道路の復旧状況や宿泊体制の不透明さがあることは承知しているが市として大会再開に対する思いや、目標年を示す考えがあるのか、伺う。

答 能登和倉万葉マラソンの令和7年度大会については、コースとなる道路の復旧状況や宿泊施設の受入態勢が整っていないことから、組織委員会として中止を決定した。これに代わる取組みとして、3月20日に東洋大学陸上競技部の協力によるランニングレッスン会と、「和倉温泉元氣フェスタ!復興かき祭り2026」を開催する予定である。令和8年度以降の開催については、和倉温泉の復旧状況を見極めながら、大会のあり方や代替イベントの可能性も含め、関係機関と協議していく考えである。また、マラソン大会には和倉温泉への宿泊誘客やカキの消費促進といった目的があり、同時期に福井マラソンが開催されることや、能登地域で駅伝大会が計画されている状況についても考慮する必要がある。こうした諸事情を踏まえると、現時点での再開時期について具体的な目標を示すことは困難である。



木下 美也子 議員
(無党派)



一般質問

■令和8年度当初予算、組織の見直しについて

猛暑を前提とした学校環境整備の優先順位について伺う!

質 令和8年度当初予算案では、中学校4校の体育館等に空調を設置するための事前調査費が計上されているが、今後、小学校を含めた整備全体のスケジュールをどのように考えているのか伺う。また、安心して子どもを通わせられる学校環境の整備は、子育て世代の関心が高く、人口減少対策や移住促進の観点からも重要である。なかでも、小学校体育館の早期空調整備については、市の重要な施策の一つであると考えている。この点について、市の認識を伺う。

答 中学校体育館における空調整備については、調査から整備完了までに約2年半を見込んでおり、令和10年6月までに完了する予定である。その後、小学校10校については、令和9年度に5校、令和10年度に5校を順次整備し、令和12年の夏をめどに、市内すべての小中学校14校の整備を完了する予定である。

熱中症対策については、教育委員会として重要な優先課題であると認識している。空調整備を進めるにあたっては、財源の確保や工事を担う事業者の確保など、さまざまな課題がある。中学校の体育館は授業に加え部活動でも使用されており、利用頻度が高く、熱中症対策が急務となっている。これらの状況を総合的に判断し、まずは中学校から着手したところである。また、熱中症アラート発令時には体育館の使用を控え、特別教室等での授業に切り替えるなど、必要な熱中症対策を実施している。